

横浜市立稲荷台小学校 令和3年度 豊かな心の育成推進プラン

I 中期学校経営方針

(1) 中期取組目標

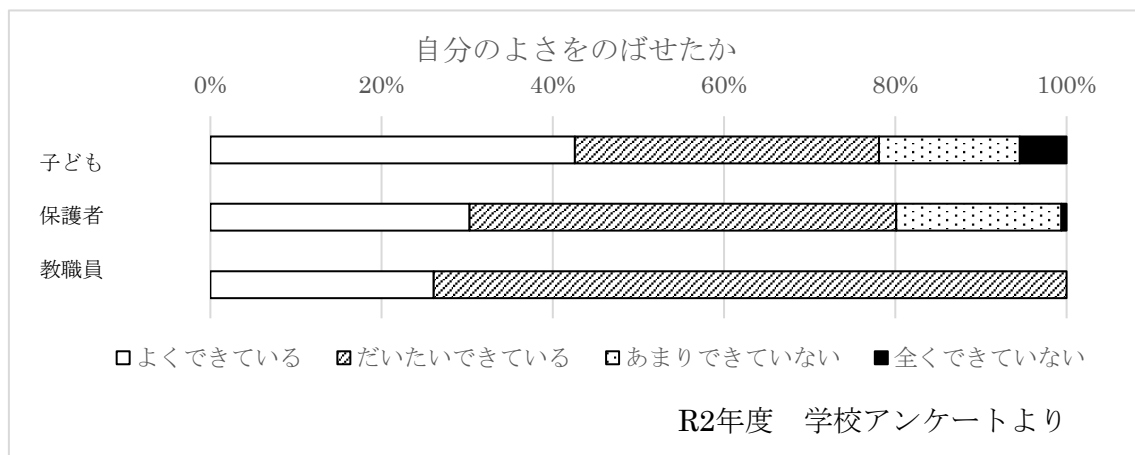
| 中期取組目標 | |
|---|--|
| <p>○「自分の考えをもち、自ら社会参画しようとする子どもの育成」を目指し、授業改善に資する共同研究を進めます。</p> <p>○3つのプロジェクトを通して、子どもたちの学校生活を実りあるものにします。</p> <p>① 学力向上…学力分析から実効性のある学力向上アクションプランの立案・ドリル・読書タイムの充実・学習習慣の確立</p> <p>② 体力向上…体力分析(分析チャート)から実効性のある体育健康プランの立案・いなりっ子タイムの充実</p> <p>③ 自己有用感向上…生活意識分析(分析チャート)から実効性のある豊かな心育成プランの立案・縦割りバディ活動の充実</p> <p>○創立100周年に向けて、地域と連携して記憶に残る周年行事を開催します。</p> | |

(2) 「豊かな心の育成」に向けた重点取組分野・具体的取組

| 重点取組分野 | | 具体的取組 |
|--------|-------------|---|
| 豊かな心 | | <p>様々な教育活動を通して、子どもたちが自分の心を見つめ、「今の自分に必要な見方・考え方」を見出すことができるようにする。</p> <p>子どもたちの誰もが、「自分のよさ」を豊かに発揮し合える集団を創ることにより、自他の優劣にとらわれることなく、自己有用感をもち、心豊かに生活していくことができるようにする。</p> |
| 担当 | 自己有用感プロジェクト | |

2 児童(生徒)の実態(「豊かな心の育成」に関わる課題)

全体的に、「自分にはよいところが少ない」「自信がもてない」といった意識が強く、自己肯定感・有用感が低いといえる。児童のよさや努力点を認め、「自分には人に認められている」「自分にはよいところがある」という思いをもてるようにしたい。



3 「豊かな心の育成」に関する具体的取組

【項目 アンケートの分析】

- ・「学校評価」「YP アセスメント」「心と体のアンケート」の分析を行い、児童を深く理解し、子どもに寄り添った支援を行う。見取りをもとに、苦手なところを克服し、得意なところをさらに伸ばす支援を行います。
- ・学習(授業・スキルアップタイム・家庭学習)生活両面において、“がんばり”“できた”を見取り、温かい声掛けを増やします。

【項目 振り返りの共有】

- ・学習や行事、学級活動などの振り返りを通して、子どもたちの誰もが「自分や相手のよさ」を認めることができるようにする。互いのよさを素直に認め、自他の優劣にとらわれることなく、自分の考えを豊かに発揮し合える集団を目指す。

【項目 他者評価の推進】

- ・「よいところ見つけ」を年3回実施する。保護者からのコメントももらうことにより、自己肯定感が高められるようにする。
- ・クラス全体や少人数での交流的活動、グループワークを活用し、仲間作りの場を授業に取り入れます。